

平成 23 年度 事業計画書

1 事業実施方針

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定に基づき産業廃棄物の適正処理を行うとともに、廃棄物の適正処理やリサイクルの推進・普及及び施設周辺の自然環境保全や希少植物の保護事業に取り組むなど、安全で安心な生活環境の保全を促進するため、次の事業を積極的に推進する。

2 廃棄物処理事業（定款第 4 条第 1 号及び第 2 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 適正な処理場運営・管理の推進 ① 廃棄物処理については、関係法令を遵守し適正に処理する。 ② 廃棄物排出業者等から廃棄物受入れ動向の把握を行い、搬入調整を行う等廃棄物の処理需要に即した対応で処理する。 ③ 環境・水質調査の実施による環境影響評価の継続的監視を行う。	受入目標量41,000t (別表「廃棄物処理計画」) 動向等把握の実施 基準超過 0 日

3 廃棄物適正処理及びリサイクル推進・普及事業（定款第 4 条第 3 号及び第 4 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 廃棄物の適正処理等に関する推進・普及啓発 ① いわて環境王国展等への出展により普及・啓発活動を行う。 ② 環境イベント等において、リサイクル事業の事例紹介やリサイクル促進の取組み事例等についての啓発活動を行う。 ③ 県内外からの視察者の受け入れを促進するとともに、施設公開を行い、廃棄物の適正処理方法、公害防止の取組状況等を説明し、生活環境保全についての意識啓発・普及活動を行う。 ④ ホームページを充実し、産業廃棄物に関する解説や環境測定結果等に関する情報を積極的に公開する。	3 回/年以上実施 8 月 施設公開 1 回/月以上更新
(2) リサイクルの推進・普及等 ① 焼却施設から発生する熱源を岩手県設置の余熱利用施設に安定供給する等により、サーマルリサイクルの推進、普及を行う。 ② 余熱利用施設への常設パネル展示等により、利用者のサーマルリサイクルについての意識啓発・普及活動を行う。	熱源安定供給

4 自然環境保全等事業（定款第 4 条第 5 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 施設周辺自然環境保全 センター周辺道路等の環境美化活動等を実施し、自然環境の保全を行う。	春秋 2 回実施
(2) 希少植物保護 ビオトープに移植した希少植物の生育状況を確認するとともに、自生する植物の生態系保護活動の一環として観察会を開催し、地元小学生や地域住民と一緒に環境保全の大切さを学ぶ環境学習の場とする。	8 月 観察会開催

5 管理業務等（定款第 4 条第 6 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 新公益法人制度への対応 一般財団法人移行認可申請に向け、定款の変更の案、評議員・理事・監事等の体制、事務処理規程等を具体化していく。	移行認可申請
(2) 焼却業務の今後のあり方 焼却施設が 15 年を経過し経年劣化が著しく、今後、多額の修繕費が見込まれることから、焼却業務の今後のあり方について引き続き検討を行う。	論点整理

平成23年度 収支予算書（損益計算書ベース）

総括

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額 (補正後の予算※)	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	10	10	0	
② 事業収益				
処理事業収入	1,030,000	1,164,000	△ 134,000	
処理事業収入(建設基金振替)	16,400	16,385	15	
③ 受取補助金等				
受取補助金等振替額	104,643	114,782	△ 10,139	
④ 雑収益				
受取利息	30	60	△ 30	
雑収益	950	940	10	
経常収益計	1,152,033	1,296,177	△ 144,144	
(2) 経常費用				
① 事業費	(1,129,463)	(1,144,692)	(△ 15,229)	
役員報酬	2,777	2,777	0	
給料手当	18,793	18,567	226	
臨時雇賃金	8,216	8,177	39	
退職給付費用	2,170	968	1,202	
福利厚生費	5,685	5,569	116	
賞与引当金繰入額	1,376	1,330	46	
旅費交通費	1,170	710	460	
通信運搬費	4,500	4,880	△ 380	
減価償却費	475,671	527,093	△ 51,422	
消耗品費	56,470	49,051	7,419	
修繕費	81,964	81,464	500	
点検料	42,870	39,238	3,632	
燃料費	44,070	40,641	3,429	
光熱水料費	62,121	58,232	3,889	
賃借料	5,740	5,897	△ 157	
保険料	14,937	14,424	513	
租税公課	35,075	46,386	△ 11,311	
支払負担金	16,679	16,679	0	
支払利息	67,550	71,212	△ 3,662	
手数料	1,942	1,792	150	
委託費	137,910	141,697	△ 3,787	
貸倒損失	3,000	4,000	△ 1,000	
貸倒引当金繰入	3,000	2,326	674	
災害防止準備金繰入	34,732	0	34,732	
その他 事業費	1,045	1,582	△ 537	
② 管理費	(8,738)	(7,870)	(868)	
役員報酬	2,777	2,777	0	
給料手当	2,045	1,630	415	
退職給付費用	214	72	142	
福利厚生費	920	686	234	
賞与引当金繰入額	150	173	△ 23	
旅費交通費	170	100	70	
減価償却費	479	479	0	
光熱水料費	249	223	26	
租税公課	191	191	0	
支払利息	203	237	△ 34	
手数料	1,005	1,005	0	
その他 管理費	335	297	38	
経常費用計	1,138,201	1,152,562	△ 14,361	
当期経常増減額	13,832	143,615	△ 129,783	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
貸倒引当金戻入額	2,326	1,887	439	
固定資産取得益		31,088	△ 31,088	
経常外収益計	2,326	32,975	△ 30,649	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	450	450	0	
経常外費用計	450	450	0	
当期経常外増減額	1,876	32,525	△ 30,649	
税引前当期一般正味財産増減額	15,708	176,140	△ 160,432	
法人税・住民税及び事業税	82	82	0	
当期一般正味財産増減額	15,626	176,058	△ 160,432	
一般正味財産期首残高	680,800	504,742	176,058	
一般正味財産期末残高	696,426	680,800	15,626	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	104,643	114,782	△ 10,139	
当期指定正味財産増減額	△ 104,643	△ 114,782	10,139	
指定正味財産期首残高	1,611,802	1,726,584	△ 114,782	
指定正味財産期末残高	1,507,159	1,611,802	△ 104,643	
III 正味財産期末残高	2,203,585	2,292,602	△ 89,017	